

〈2024 年 9 月～2025 年 3 月実施〉

## 変額保険販売資格試験

### 試験問題【フォーム B】

● 注 意 事 項

1. 試験時間は 40 分です。
2. 試験問題は、全部で 40 問あります。《100 点満点》
  - 問題 1 から 8 は、正しいものを 1 つ選ぶ問題《各 2.5 点：20 点満点》
  - 問題 9 から 16 は、誤っているものを 1 つ選ぶ問題《各 2.5 点：20 点満点》
  - 問題 17 から 20 は、文中に入る最も適切なものを 1 つ選ぶ問題《各 2.5 点：10 点満点》
  - 問題 21 から 30 は、語群の中から最も適切なもの（数値・語句）を選ぶ問題《各 3 点：30 点満点》
  - 問題 31 から 40 は、正誤を選ぶ問題《各 2 点：20 点満点》

業界共通教育課程試験等のテキストおよび試験問題の取扱方針について

- ・業界共通教育課程試験、生命保険講座試験および継続教育制度（以下、業界共通教育課程試験等という）のテキストおよび試験問題（過去問題を含む）の著作権は、生命保険協会に属します。
- ・テキストおよび試験問題（過去問題を含む）は業界共通教育課程試験等の教育および受験の目的にのみ利用するものとします。
- ・テキストおよび試験問題（過去問題を含む）の一部または全部を無断で複写・複製・転載・頒布・販売すること、ならびに磁気または光記録媒体、コンピューターネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き固く禁じます。なお、生命保険協会が許可した場合または法律で認められた場合であっても、当該行為により生じた結果について、生命保険協会は故意または重大な過失がある場合を除き一切の責任は負わないものとします。

一般社団法人 生命保険協会

## 〔 1 〕 変額保険と定額保険の資産運用

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 「定額保険」は、資産運用に際しては利息・配当金収入を中心とし、安全性が重視されています。

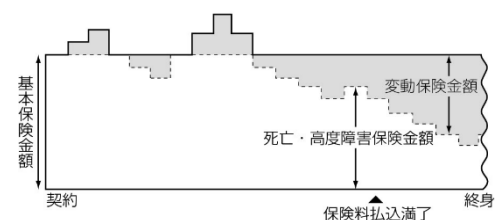
イ. 「定額保険」は、運用実績が予定利率を下回った場合、給付の保証はありません。

ウ. 「変額保険」の資産運用に際しては、有価証券を中心に運用を行い、売買差益を除いた評価差益による利回りを追求します。

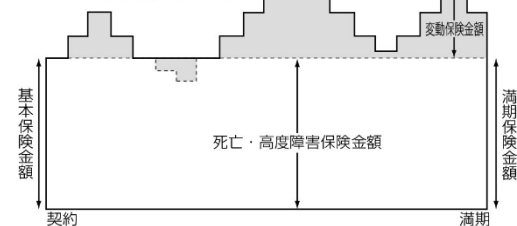
## 〔 2 〕 変額保険の保険金額変動の仕組み

次の仕組み図のうち、正しいものを1つ選んでください。

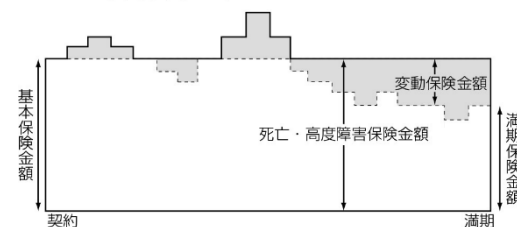
ア. (終身型)



イ. (有期型)



ウ. (有期型)



### 〔 3 〕 保険料の仕組み

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

**ア.** 変額保険の保険料は、その保険にかかわる資産の運用実績に基づいて変動することがあります。

**イ.** 変額保険に定期保険特約および災害・疾病関係特約などを付加する場合の特約保険料は、特別勘定で運用されます。

**ウ.** 変額保険では、付加保険料のように経費として使用される部分などは、一般勘定で管理されます。

### 〔 4 〕 特別条件付契約の取り扱い

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

**ア.** 生命保険会社は、定額保険と同様に、被保険者の健康状態によっては他の契約者との公平性を保つために、「保険料の割増」や「保険金の削減」などの特別な条件を付けて契約を引き受ける場合があります。

**イ.** 変額保険の特別条件が「保険料の割増」のとき、特別保険料（割増保険料）は、特別勘定で運用されます。

**ウ.** 変額保険の特別条件が「保険金の削減」のとき、基本保険金額の削減は行いません。

### 〔 5 〕 変額保険から自動延長（定期）保険への変更

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

**ア.** 自動延長（定期）保険の保険金額は、保険料払込猶予期間満了時の死亡・高度障害保険金額とし、延長期間は、猶予期間満了時の既払込保険料総額によって計算します。

**イ.** 各種特約が付いた契約の場合、その特約部分は、自動延長（定期）保険への変更後も継続されます。

**ウ.** 自動延長（定期）保険に変更後3カ月以内かつ自動延長（定期）保険の保険期間内に未払込保険料および生命保険会社所定の延滞利息の払い込みが行われた場合には、元の保険契約が有効に継続していたものとして取り扱います。

### 〔 6 〕 変額保険と税

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

**ア.** 変額個人年金保険の保険料は、「個人年金保険料控除」の対象となります。

**イ.** 「契約者（保険料負担者）＝夫、被保険者＝妻、保険金受取人＝子」の変額保険で、子が死亡保険金（一時金）を受け取った場合、贈与税の課税対象となります。

**ウ.** 「契約者（保険料負担者）＝夫、被保険者＝夫、死亡保険金受取人＝相続人以外の人」の変額保険で、相続人以外の人が死亡保険金（一時金）を受け取った場合、贈与税の課税対象となります。

### 〔 7 〕 お客さま意向の把握と正しい情報提供

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

**ア.** 変額保険の販売担当者は、お客さまに対して、どのような契約内容を望んでいるかといった意向はお聞きしますが、最終的には、お客さま意向よりも販売担当者の判断により、おすすめする商品を選択します。

**イ.** 特別勘定資産の運用は法令・諸規定に従って行いますので、変額保険の販売に際して、「特別勘定の資産運用方針」などの資産運用に関する事項は、お客さまに確認していただく必要はありません。

**ウ.** 変額保険の契約後、生命保険会社は、契約者に対し定期的に情報提供を行っています。具体的には、毎年契約応当日にあわせて通知する「加入契約現況」や、事業年度終了後に通知する「業績のお知らせ」「〇〇生命の現況」などです。

### 〔 8 〕 募集上の禁止・留意事項

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

**ア.** 契約者に対し、保険料の割引・割戻や金品その他の利益を提供したり、提供することを約束したりする行為は、不適切な行為ですが、法律上の制約はありません。

**イ.** お客さまをおどしたり（威迫）、職務上の上下関係などを不当に利用して保険契約の申込みをさせたり、既契約を消滅させる行為は、法律で禁止されています。

**ウ.** 「確実に〇〇%で運用されます」と言ったり、「満期時には必ず払込額の××倍になります」と言ってすすめるなど、将来の運用成果等について断定的判断を提供する行為は、法律では禁止されていません。

<ここからは、誤っているものを1つ選ぶ問題です。>

### 〔 9 〕 金融の自由化

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

**ア.** 金利の自由化により、資金はより高い金利を求めて、「自由金利市場」から「規制金利市場」へ流れるという傾向が強くなりました。

**イ.** 金融の自由化により、銀行・証券・信託・生保・損保などの各業態がお互いの業務に乗り入れる傾向が拡大しました。

**ウ.** 「銀行窓販」では、保険募集時のさらなる契約者保護を図るため、募集にあたっては弊害防止措置が設けられています。

### 〔 10 〕 剰余金と配当金

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

**ア.** 変額保険の場合、定額保険の死差益に相当する部分は、変動保険金額の増減に反映されますので、剰余金の利源は、利差益、費差益に限られます。

**イ.** 変額保険の配当金は、契約後3年目以降の毎契約応当日から第6月目の末まで生命保険会社所定の利率により運用したうえで積立金に充当し、第7月目の変動保険金額の計算に繰り入れられます。

**ウ.** 変額保険では、配当金の引き出しはできません。

### 〔 11 〕 変額個人年金保険の仕組み

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

**ア.** 変額個人年金保険の積立金は、通常、契約後から年金支払開始までの期間中、契約者が選択した特別勘定の運用実績にもとづき変動し、最終的には年金支払開始日前日の積立金（年金原資）によって、年金開始時点に年金額が確定します。

**イ.** 変額個人年金保険の年金支払開始前に被保険者が死亡した場合は、死亡日の積立金額や払込保険料総額などにより算出された死亡給付金が支払われます。

**ウ.** 変額個人年金保険では、契約者の希望により「スイッチング」を行う場合、回数にかかわらず手数料がかかるのが一般的です。

### 〔 12 〕 失効・復活

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

**ア.** 復活をする場合、定額保険では、通常失効後3年が手続きの期限ですが、変額保険については一般に失効後3カ月となっています。

**イ.** 変額保険の復活時の死亡・高度障害保険金額は、失効期間中も保険料が払い込まれたものとして計算した基本保険金額と変動保険金額の合計金額としますが、復活時の変動保険金額がマイナスの場合には、基本保険金額が復活時の死亡・高度障害保険金額となります。

**ウ.** 変額保険の復活をする場合、生命保険会社の承諾を得るとともに、延滞保険料と生命保険会社所定の延滞利息を払い込むなどの手続きが必要ですが、加入時と異なり、告知書を提出する必要はありません。

### 〔 13 〕 契約者貸付

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

**ア.** 変額保険の契約者貸付は、生命保険会社ごとに既払込保険料総額の所定の範囲内で限度額が決められています。

**イ.** 変額保険では、契約者貸付を行った場合、貸付金と同額の積立金については、貸付金とその利息が返済されるまでの間、特別勘定資産の運用実績にもとづく計算を行うのではなく、別途生命保険会社所定の利率により運用されます。

**ウ.** 変額保険では、契約者貸付を受けた場合と受けなかった場合とでは、支払われる死亡保険金の金額が原則として異なります。

### 〔 14 〕 解約

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

**ア.** 変額保険の解約返戻金は、基本保険金額分について計算した金額と、変動保険金額分について計算した金額の合計額となります。

**イ.** 変額保険の解約返戻金を計算する際、変動保険金額分については、保険料払込年月数などにより計算した金額となります。

**ウ.** 変額保険の解約返戻金の額は、契約年齢、保険期間、経過年数、運用実績などにより異なりますが、一般に最低保証はありません。



### 〔 15 〕 販売資格と販売資格者の役割

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

**ア.** 変額保険の販売に携わる人には、定額保険の募集に必要な知識に加えて、変額保険の特徴や仕組みはもとより、金融面や現在の経済情勢などについてもより深い知識が必要となります。

**イ.** 変額保険および変額個人年金保険の販売資格を得るためには、一定の要件を満たす生命保険募集人が「変額保険販売資格試験」に合格し、法務省に登録されることが必要です。

**ウ.** 変額保険では、長期的な収益性を追求する資産運用を原則としており、お客さまには運用実績について長期的に判断していただくことが重要です。

### 〔 16 〕 犯罪による収益の移転防止に関する法律（犯罪収益移転防止法）

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

**ア.** 「犯罪収益移転防止法」により、お客さまの取引時確認が必要となるのは、生命保険契約の締結や契約者貸付等の取引発生時や、100 万円を超える大口現金取引時等です。

**イ.** 「犯罪収益移転防止法」では、お客さまが法人の場合、お客さまである法人と、実際に手続きをする担当者双方の取引時確認が必要です。

**ウ.** 「犯罪収益移転防止法」では、保険会社等の特定事業者は、お客さまが取引時確認に応じない場合には、応じるまでの間、取引に係る義務の履行を拒むことができることとし、免責規定を設けています。

<ここからは、文中に入る最も適切なものを選ぶ問題です。>

〔 17 〕 契約日

文中の空欄 [     ] に入る最も適切なものを1つ選んでください。

変額保険の契約日は、[     ]です。

語群

- |                    |
|--------------------|
| ア. 責任開始期の属する月の1日   |
| イ. 責任開始期の属する月の末日   |
| ウ. 責任開始期の属する月の翌月1日 |

〔 18 〕 変額個人年金保険の年金受取時の課税

文中の空欄 [     ] に入る最も適切なものを1つ選んでください。

契約者(保険料負担者)・年金受取人が夫の変額個人年金保険契約の場合、夫が毎年受け取る年金は、[     ]の課税対象となります。

語群

- |              |
|--------------|
| ア. 所得税(雑所得)  |
| イ. 所得税(一時所得) |
| ウ. 贈与税       |

〔 19 〕 特別勘定資産における有価証券の評価方法

文中の空欄 [     ] に入る最も適切なものを1つ選んでください。

特別勘定資産の評価の方法は、国内・外の有価証券については[     ]により行います。

語群

- |         |
|---------|
| ア. 低価法  |
| イ. 時価評価 |
| ウ. 原価法  |

〔 20 〕 特別勘定資産における有価証券以外の資産の評価方法

文中の空欄 [     ] に入る最も適切なものを1つ選んでください。

特別勘定資産の評価の方法は、有価証券以外の資産については原則として[     ]により行います。

語群

- |         |
|---------|
| ア. 時価評価 |
| イ. 低価法  |
| ウ. 原価法  |

＜ここからは、文中に入る最も適切なものを選ぶ問題です。＞

**【変額保険から定額保険への変更】**

文中の空欄【 21 】～【 25 】に入る最も適切なものを選んでください。

変額保険から定額保険への変更は、変額保険の契約日から起算して【 21 】以内に限り認められ、変更後は、【 22 】から基本保険金額と同額の定額保険に加入していたものとして取り扱います。

定額保険の長期継続契約に割り当てられる【 23 】は、変額保険加入時の契約日が起算点となります。変更後の定額保険の効力は、生命保険会社所定の変更請求書類を生命保険会社が【 24 】から生じます。

なお、定額保険へ変更後、再び変額保険に復旧（復帰・復元）する【 25 】。

**語群**

ア. 定額保険への変更申込日

イ. 取り扱いはできません

ウ. 受け付けた日の翌日

エ. 取り扱いはできます

オ. 特別配当金

カ. 3 カ月

キ. 変額保険の契約当初

ク. 6 カ月

ケ. 受け付けた日

コ. 通常配当金

**【金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律（金融サービス提供法）】**

文中の空欄【 26 】～【 30 】に入る最も適切なものを選んでください。

「金融サービス提供法」では、金融商品販売にあたってそのリスク（市場リスク・【 26 】）に関する重要な事項の説明を怠ったことによりお客さまが損害を被った場合には、金融商品販売業者が【 27 】を負うことを定めています。また、お客さまには十分な理解と認識のもと金融商品の購入をしていただく必要があり、お客さまの知識・経験・財産の状況や取引の目的に照らしてふさわしい説明をしなければならない旨（【 28 】）を定めています。

なお、金融商品販売業者は、金融商品を販売するための【 29 】を策定し、公表しなければならないことになっており、金融商品販売業者には、【 30 】はもちろん保険代理店等も含まれます。

**語群**

ア．資産運用方針

イ．生命保険協会

ウ．生命保険会社

エ．適合性の原則

オ．信用リスク

カ．個人情報漏えいリスク

キ．勧誘方針

ク．損害賠償責任

ケ．自己責任原則

コ．契約取消義務

<ここからは、正誤を選ぶ問題です。>

### 〔 31 〕 変額保険の発売時期

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

金融の自由化やお客さまのニーズの多様化などを背景として変額保険に対するニーズが高まり、1986 年（昭和 61 年）に変額保険と変額個人年金保険が同時に発売されました。

正

誤

### 〔 32 〕 特約による保険金・給付金

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

変額保険の定期保険特約および災害・疾病関係特約などにもとづいて支払われる保険金や給付金の金額は、特別勘定資産の運用実績により変動します。

正

誤

### 〔 33 〕 変額個人年金保険の解約

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

一般に変額個人年金保険は、年金支払開始日前の解約は可能ですが、年金支払開始日以降の解約はできません。

正

誤

### 〔 34 〕 クーリング・オフ

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

定額保険と異なり、変額保険は、クーリング・オフを取り扱いません。

正

誤

〔 35 〕 保険料の払込方法（回数）

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

変額保険の保険料の払込方法（回数）については、定額保険と同様に、一時払を取り扱います。

正

誤

〔 36 〕 保険期間・保険料払込期間の変更

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

変額保険では、保険期間・保険料払込期間の変更を取り扱いません。

正

誤

〔 37 〕 減額

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

変額保険の基本保険金額を一度減額すると、元の保険金額に復旧（復帰・復元）することはできません。

正

誤

〔 38 〕 高度障害保険金への課税

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

変額保険の高度障害保険金は、定額保険と同様に、被保険者や配偶者等一定の親族が受け取る場合は非課税となります。

正

誤

### 〔 39 〕 特定保険契約

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

変額個人年金保険は、変額保険と異なり、保険業法上の「特定保険契約」にはあたらないため、「金融商品取引法」の一部が準用されることはありません。

正

誤

### 〔 40 〕 消費者契約法

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

事業者の不適切な勧誘方法によって、お客さまが誤認または困惑して締結した契約について、お客さまが契約の取消し等ができるのは、お客さまが誤認に気がついたときや困惑の状況から解放されたときなどから原則1年以内で、契約締結時から原則5年以内と消費者契約法により定められています。

正

誤

